



北区認知症フレンドリーコミュニティ通信

北区では、認知症になってもそれまでの暮らしが尊重され、これまでどおり暮らしていけるまち「認知症フレンドリーコミュニティ」をめざした取組みをすすめています。
北区の認知症フレンドリーコミュニティづくりの活動について情報発信します。

Vol.20

第3回北区認知症フレンドリーアイデアミーティング 「認知症になってもはたらく！！」を開催しました！

12月20日（金）に令和5年度第3回アイデアミーティング「認知症になってもはたらく！！」を開催しました。今年度行ってきたアイデアミーティングでの意見やアイデアを踏まえ、来年度からのモデル事業実施に向けアイデアを出し合いました。介護事業所、企業、認知症本人、認知症サポーター等29人が集まり、プロジェクト実現に向けて参加者間で意見交換を行いました。

第1部 情報交換会：「はたらく・社会参加」のこれからを考える



福岡県大牟田市を拠点に認知症の方の社会参加等に取り組まれている猿渡進平さんから、認知症ご本人が「やりたいこと」を実現するための介護サービス事業所におけるポイントや、企業・地域とのコミュニケーションの取り方などについて、ご講演いただきました。



「はたらく」の意味とは？

第2部 グループワーク：「社会参加」モデル事業実践に向けて

以下の4つの「はたらくプロジェクト」について、その実現にむけたアイデア出しを行いました。

① おばあちゃんとわらべうたプロジェクト

保育園の園長をしていたご本人さん
子どもと関わりながら

- きっかけづくり
- 保育園のニーズを聞いてみる
- 放課後デイサービスのお手伝い

何か集まる場所がほしい！！
得意なことや趣味を活かす

- 出張シェフにチャレンジ
- 株や語学など得意なことを活かす
- カレーだけでなく麻雀で楽しく

② カレー食堂プロジェクト

③ 体を動かす！お仕事創出プロジェクト

とにかく体を動かしたい！
やりがい個人に還元

- 社用車の洗車、つつじの剪定
- 地域の支え合い事業のような活動
- スーパーのカートの回収

家でも施設でも作れる新聞紙エコ
バックで人の役に立ちたい！

- 英字新聞でおしゃれに
- 薬局やスーパーに置いてもらう
- 肩たたき棒やチラシゴミ箱も！

④ 新聞紙でエコバックプロジェクト

「はたらく」の意味
の中に、人と人が
「つながる」ことが
含まれている

高齢でも認知症で
もずっと変わらず
社会の一員で...

夢の支援で感動が
うまれるとよい

実現ができるよう
に動きたい

ご本人とやりたいこ
とがつながるマッ
チングができれば

今後の予定

来年度は認知症ご本人の“やりたいこと”を実現するため、いくつかのモデル事業を実施予定です。

詳細は第3回アイデアミーティング
開催報告資料をご覧ください。



参加者の感想

